



マーク・ロスコ 瞑想する絵画

2009年2月21日[土]—6月7日[日] 川村記念美術館

開館時間:午前9時30分—午後5時 *入館は午後4時30分まで 休館日:月曜日 *5月4日[月]は開館し、5月7日[木]は休館 入館料:一般1,500円[1,300円]/学生・65歳以上1,200円[1,000円]/小中高生500円[400円] *[]内は20名以上の団体料金
主催:川村記念美術館[DIC株式会社] 企画:川村記念美術館/ロンドン、テート・モダン 後援:千葉県/千葉県教育委員会/佐倉市/佐倉市教育委員会 協力:日本航空/ヤマトロジスティクス/Blackwall Green 協賛:日本写真印刷
MARK ROTHKO Exhibition organized by Kawamura Memorial Museum of Art in association with Tate Modern, London 《壁画 セクション7》1959年 テート蔵 ©1998 by Kate Rothko Prizel and Christopher Rothko

千葉県佐倉市坂戸631 tel.0120-498-130
<http://kawamura-museum.dic.co.jp>

画家マーク・ロスコ(1903-1970)は、1940年代の終わり頃、大きな画面に茫洋と広がる色面が浮かぶ独自のスタイルを獲得し、たちまちアメリカを代表する人気画家となります。

しかしこうした名声に浴するかわら、ロスコは「自分の絵画空間」を手に入れる夢を抱きはじめます。それは、他の画家の絵とは一緒にされず、自作だけが幾枚か部屋の壁に掛けられ、自分の思いどおりに照明や展示がなされた部屋のことでした。そうすることで初めて、ロスコの絵は息づき、互いが音楽のように響き合って、鑑賞者を包み込むことができるからです。

1958年から59年にかけて制作された〈シーグラム壁画〉は、ロスコが初めて空間を与えられて手がけた連作でした。しかし、作品が飾られるはずだった最高級レストランの雰囲気が入らなかったロスコは、一度は喜んで引き受けた話を自ら断り、完成した30枚の絵は行き場を失ってしまいます。壁のように大きな画面に、窓枠を思わせるかたちが配され、深い赤茶色、オレンジと黒を基調に描かれた〈シーグラム壁画〉。それらは横に連なって空間を満たし、古代の遺跡にも似た圧倒的な存在感で、より深遠な、未知なる世界にわたしたちを誘います。

本展では、ながらく散逸したままだった〈シーグラム壁画〉15点が、アメリカとイギリスから集められて一堂に会し、新たなロスコ空間を創出します。まさしく千載一遇の機会といえるでしょう。また、〈シーグラム壁画〉のための展示模型や関連作品や最晩年作など13点と、本邦初公開となるロスコの書簡16通をあわせてご紹介し、晩年のロスコ芸術の真髄に迫ります。



1.《「壁画 No.1」のためのスケッチ》1958年 川村記念美術館蔵 2.《無題》1959年 テート蔵 3.《「壁画 No.4」のためのスケッチ》1958年 川村記念美術館蔵 4.《無題》1958年 川村記念美術館蔵 5.《突き当たりの壁のための壁画》1959年 ワシントン、ナショナル・ギャラリー蔵
1~5. ©1998 by Kate Rothko Prizel and Christopher Rothko 6.テート・ギャラリーのシーグラム壁画展示のための模型 1969年 テート・アーカイヴ蔵 ©Tate, London 2008



クロストーク
茂木健一郎(脳科学者)×林寿美(当館学芸員)

3/29[日] 17:30-19:00

赤い〈シーグラム壁画〉に囲まれた展示会場で、ロスコ絵画の魅力
を異分野の専門家同士が語り合います。

聴講費=1,000円(入館料別途)

当日13:00から美術館エントランスで先着100名に聴講券販売。

予定変更あるいはキャンセルの可能性があります。

学芸員によるロスコ展ギャラリートーク

2/21[土]、3/14[土]、4/10[金]、5/24[日] 各日14:00-15:00

先着40名、14:00エントランスホール集合

ガイドスタッフによる全館ガイドツアー

2/21、3/14、4/10、5/24を除く毎日 14:00-15:00

予約不要、14:00エントランスホール集合

混雑により、ロスコ展示会場をご案内できないことがあります。

音声ガイド

展示会解説の他に、クラシック音楽をこよなく愛したロスコにちなみ、
モーツァルトとシューベルトの室内楽曲を収録しました。

貸出料=1台500円

展示会カタログ

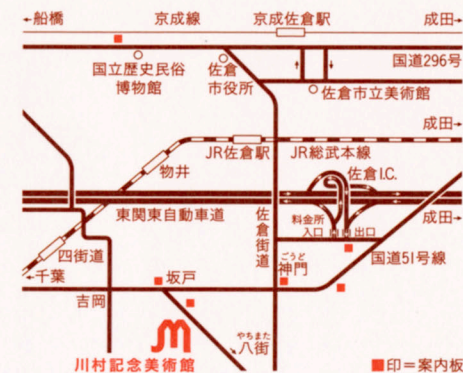
「マーク・ロスコ」2,940円[予価] 淡交社より全国書店で2/20発売予定

美術館までの交通案内

自動車で 箱崎JCTから東関東自動車道「佐倉IC」まで(約40分)、
国道51号を千葉方面へ進み「坂戸」交差点を左折、
県道22号線(=八街横芝線)を八街方面へ約700m
直進右手(約10分)。無料駐車場300台。

東京駅から JR総武線快速エアポート成田で「佐倉駅」下車(約40分)。
南口の川村記念美術館バス停より無料送迎バス
(約20分)。

京成 京成本線特急または快車の成田方面行きで「京成
上野駅」から 佐倉駅下車(約30分)。南口「シロタカメラ」前より
無料送迎バス(約30分)。



美術館行き送迎バス時刻表:

●印は土・日曜・祝日のみ運行増便

京成佐倉駅発	8:50	9:10	9:50	10:20	10:50●	11:20	11:50●	12:20	-	13:20	13:50●	14:20	14:50●	15:20	15:50
JR佐倉駅発	9:00	9:20	10:00	10:30	11:00●	11:30	12:00●	12:30	13:00●	13:30	14:00●	14:30	15:00●	15:30	16:00

マーク・ロスコ 瞑想する絵画

本券を切り取って当館チケット売り場にお持ちください。

一般1,500円/学生・65歳以上1,200円のところ、一律1,100円でご入館いただけます。

※一枚につき4名まで一回限り有効。他の割引との併用不可。

早期来館割引券(3/8まで有効)